

事業所名 グループホーム正寿の光

作成日: 平成 29年 10 月 18 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	H25年の外部評価において、理念は事業所の目標である。職員で理念を作り上げて、実践できるとよいということで目標達成計画を作成し、それに向けて取り組みを行い、基本理念を全員で作りに上げ、現在に至っている。理念について、常に意識を持って支援に当たっているかという、少しずつ意識が薄れているというのも事実である。評価員は1日の終業の時にも、「理念に沿ってケアが出来たか、今日の振り返りを行っているか。」と質問された。管理者を始め、終業の時の振り返りは行っていない。評価員が求めているような難しい事は出来ないが、職員皆理念は目標であり、それを踏まえて、日々のケアには当たらないといけないとは自覚している。	皆で作りに上げた基本理念を、念頭に置き、日々の支援にあたる。入居者も職員も「笑顔」「思いやり」「自分らしさ」のある日々を過ごすことができる。	10月18日、職員全体会議において、外部評価結果について、共有した。職員の入れ替わりもあり、現在の基本理念の理解がどうなのか確認した結果、現在の基本理念は素晴らしい理念であると全員の意見であった。目標達成に向けた取り組みとして、2ヶ月に1回全体会議において、理念を念頭に置いたケアの実践について確認をして行く。各勤務帯出勤時に基本理念を唱和する。午前、午後の各ユニット申し送りの時間に各ユニットで唱和する。	12ヶ月
2					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。